

令和3年度第3回理事会議事録

一般社団法人
静岡県建設コンサルタンツ協会

1 開催日時 令和3年9月17日(金) 10時15分開会 11時20分閉会

2 開催場所 協会会議室

3 理事会開会

(1) 出席した役員等の氏名

理事 森崎祐治 芹澤秀樹 服部剛明 藤山義修 齋 秀之
浅岡論志 小田秀昭 蓮池康彦 牧田敏明
監事 杉山 博 小田稔彦
事務局長 石原敏男

(2) 理事会成立の報告

事務局から、理事9名のうち9名(全員)が出席しており、定款第36条に基づき理事会は成立するとの報告がなされた。

(3) 議事録署名人の選任

事務局から、議事録署名人は定款第37条の規定に基づき出席した会長及び監事となる旨を説明するとともに、議事録作成後の記名押印を依頼した。

(4) 会長挨拶

議事に先立ち、森崎会長から挨拶があった。

(5) 議長選出

定款第35条の規定に基づき森崎会長が議長に就任した。

4 議 事

(1) 令和3年度委員会等の事業

ア 企画広報委員会

(ア) 国(国土交通省)との意見交換会

- 事務局から、国土交通省県内7事務所と建設関連業3団体(建設コンサルタンツ協会、測量設計業協会、地質調査業協会)との意見交換会について、顧問である井林衆議院議員の御臨席を頂いて、令和3年7月12日に開催し、関係者16名が参加したとの報告があった。

また、本年度の意見交換会は、新型コロナ感染拡大防止に配慮して出席者数を例年の半数に制限するとともに、懇親会は中止したとの説明があった。

(イ) 県（交通基盤部、経済産業部農地局）との意見交換会

- ・ 事務局から、交通基盤部との意見交換会について、令和3年10月22日に開催を予定しており、現在、木犀会が中心となって要望事項の取り纏め中であるとの報告があった。

また、事務局から理事会の出席者に対して、取り纏め中の要望案の提示があり、内容を確認の上意見等のある場合には、事務局あて連絡するよう依頼かなされた。

経済産業部農地局との意見交換会については、令和3年11月12日に開催を予定しており、現在、木犀会が中心となって要望事項の取り纏め中であるとの報告があった。

なお、両意見交換会共に、意見交換会後の懇親会については、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮して中止するとの説明があった。

イ 技術委員会

(ア) 第16回技術研究発表会

- ・ 事務局から、第16回技術研究発表会について、協会初の試みとなる「会場受講」と「Web受講」のハイブリット方式により令和3年8月6日に開催し、技術研究部会や発表者等の協力を得て成功裏に終了したとの報告があった。

また、受講者は全体で277名となり、このうちWeb受講者は約94%の259名であったこと。全体経費は会場借上料支出が少なかったため、前回の68万円余に比して19万円減額となる49万円余であったとの説明があった。

なお、今後の課題としては、Web受講証明書発行に係る事務量の増加、円滑なWeb受講確保のための実施体制強化が挙げられた。

(イ) 各部会研修等事業

- ・ 本年度の各部会の研修事業の実施方針について協議を行った。
- ・ 都市（まち）づくり部会、上・下水道部会の合同による「まちづくり講習会」については、令和3年7月16日に合同部会を開催し、令和3年10月21日に開催することが決定するとともに、既に講師予定者との調整も進められているため、予定通り開催することとされた。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮し、時間を短縮するために講演を都市（まち）づくり関係の2題のみとして、本年度は上・下水道関係の講演は実施しないこと。会場受講者を少なくするためにWeb受講方式等を導入して実施すること等が決定された。

- ・ 道路・構造部会、土木防災部会の合同研修会及び農林・環境部会の研修会については、令和3年7月頃からの新型コロナ感染拡大の状況（まん延防止等重点措置、緊急事態宣言の発出等）の中で、部会での協議も行われておらず、今後、年度末に向けて会員が業務多忙期を迎える中での開催準備も困難と思慮されることから、本年度内の開催は見送ることとされた。

ウ その他

(ア) 県政先進情報収集研修会

- ・ 事務局から、県政先進情報収集研修会について、県交通基盤部理事及県経済産業部理事を講師として、令和3年7月2日に研修会を開催し、45名（会場受講者14名、Web受講者31名）が参加したとの報告があった。

また、当研修会は、従来は木犀会の総会時に役員等のみの参加により開催していたが、本年度は木犀会総会が書面表決開催となったため、協会独自の事業として開催したとの説明があった。

(2) 行政機関等への協力事業

ア 静岡県新技術交流イベント in shizuoka 2021 への後援及び出展募集

- ・ 事務局から、県が令和3年11月2日に開催する本年度の新技術交流イベントについて、県より当協会への後援依頼、会員企業への出展依頼がなされているとの報告があった。

なお、イベントへの後援については、協議の結果、県からの依頼を受けて当事業への後援を行うことが決定された。

イ 静岡県交通基盤部フォトコンテスト

- ・ 事務局から、当協会が共催するとともに、審査等に協力している「県交通基盤部土木・建築フォトコンテスト」について、最終審査が令和3年10月12日に実施される予定であり、森崎会長が審査員として参加するとの報告があった。

ウ 静岡県土木技術職員研修への講師派遣

- ・ 事務局から、県が実施する土木技術職員研修（橋梁点検・補修設計）について、講師派遣の依頼がなされたとの報告があり、協議の結果、従来と同様に講師の派遣を行うこととされた。

なお、当研修会については、新型コロナ感染拡大防止に配慮して、「会場受講」から「Web受講」に変更になるとともに、バス移動を伴う「実地研修」が中止となったとの説明があった。

また、本年度からの新たな研修科目となった「3次元データ活用研修」については、「橋梁点検・補修設計研修」と同様に新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮して、令和3年10月1日の実施予定が延期されたとのことであった。

エ 静岡県農地技術研究発表会における技術発表

- ・ 事務局から、令和3年10月29日に開催される県農地技術発表会について、本年度は当協会から服部エンジニア（株）の田川氏が発表する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮して発表会の規模が縮小され、当協会からの発表は中止となったとの報告があった。

カ 静岡県との災害協定に基づく出動要請・応諾訓練の一部中止

- ・ 事務局から、県との災害協定に基づく出動要請・応諾訓練について、熱海土木事務所、沼津土木事務所における訓練が大規模災害への対応のため中止となったとの報告があった。

(3) 報告事項

ア 会員の動静

- ・ 事務局から、大鐘測量設計（株）の代表者が、令和3年7月1日に小田稔彦氏から塚本好明氏に変更となったこと。東海技術開発（株）の代表者が、令和3年4月20日に遠藤元氏から遠藤米子氏に変更となったことについて報告があった。

イ 建設産業関係技術研修事業の負担金請求

- ・ 事務局から、（一社）静岡県建設産業団体連合会の令和3年度の「建設産業関係技術研修事業」について、対象事業である「第16回技術研究発表会」が終了したので、関係書類を添えて負担金（助成額5万円）の請求を行うとの報告があった。

ウ コンクリート構造物の補修・補強に関するフォーラム2021の実施報告

- ・ 事務局から、当協会が後援した「コンクリート構造物の補修・補強に関するフォーラム2021」について、新型コロナウイルス感染拡大状況を踏まえ会場参加型での開催は中止されたが、主催者へのオンライン開催希望の声が多かったことから、動画配信・オンラインでの開催となったとの報告があった。

また、31講演が動画配信されるため、会員社員のCPD単位取得に有効であることから、会員宛案内済みであるとの説明があった。

エ 建通新聞への広告掲載（暑中お見舞い）

- ・ 事務局から、令和3年7月16日の建通新聞に「暑中お見舞い広告」を掲載したとの報告があった。

オ その他

- ① 静岡新聞社からの案内への対応
 - ・ 静岡新聞社から出演案内があった、令和3年10月18日に実施予定の「Web企業対談」については、協議の結果、経費、効果等を勘案して対応を行わないこととした。
- ② (一社) 全国建設コンサルタント業協会連合会意見交換会
 - ・ 事務局から、例年10月に実施している全コン連の意見交換会については、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮して本年度は中止となったとの報告があった。
- ③ 建コン協通信
 - ・ 事務局から、令和3年9月13日に第37号を発行したとの報告があった。
- ④ その他
 - ・ 大規模災害の発生、コロナ禍の中での発注者(県)との業務打合せ等におけるWeb会議活用の状況、令和3年7月当初の県東部地域(熱海、沼津等)における大規模災害に係る復旧業務への対応状況等について意見交換が行われた。

議長は、議事運営に対する各理事、監事の協力に謝辞を述べ、第3回理事会を11時20分に閉会した。

以上の議事の経過及び結果を明らかにするため、議事録を作成し、定款第37条に基づき、議長及び出席した監事が記名押印する。

令和3年9月17日

議長・代表理事 森崎 祐治 印

監事 杉山 博 印

監事 小田 稔彦 印